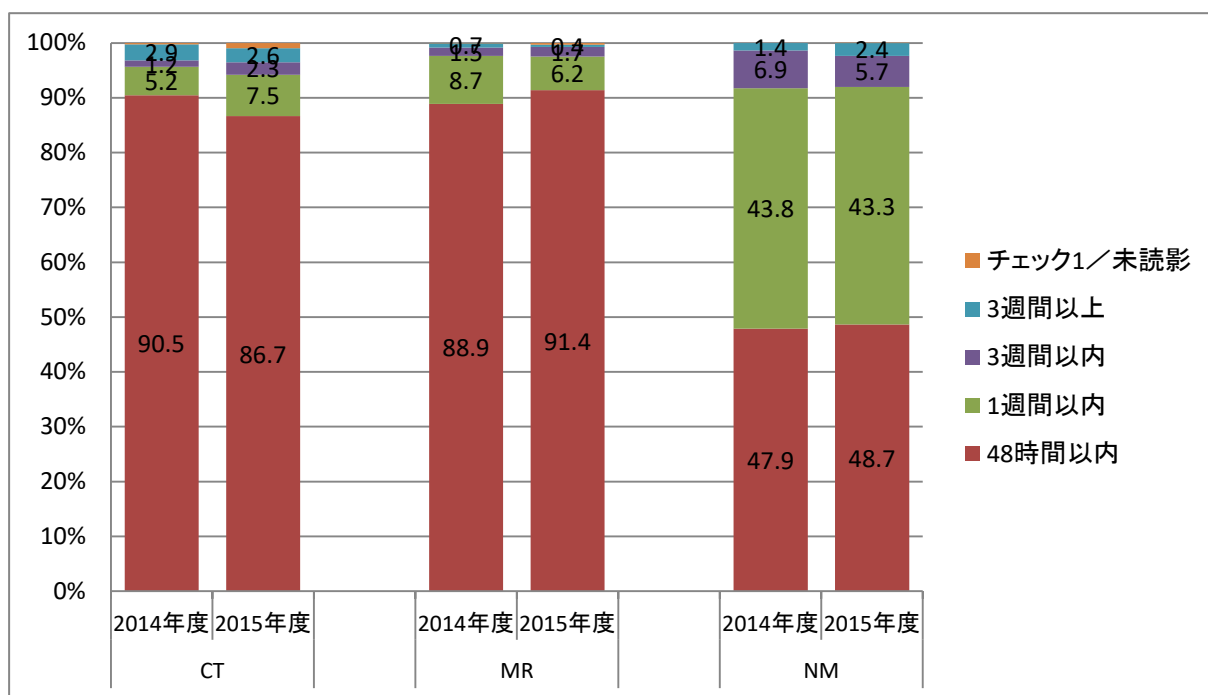


40. 放射線科医による読影レポート作成時間の割合



画像診断が行われるまでの期間の短縮は、より良い医療の提供において必須事項である。また、画像診断の専門医による読影は、正確な診断と質の高い治療を行う上で非常に重要である。

当院においては、CT検査の約90%が48時間以内に読影され、報告書が記載されている。そして1週間以内で約95%に達するが、その後は報告書が100%記載されるまでには至らない。MRI検査においてもCT検査と同様な傾向を示し、48時間以内の報告書作成率は約90%である。1週間以内ではCT検査よりやや高く、97%を超える割合で報告書が記載されている。また、MRI検査でもCT検査と同様に、報告書が100%記載されるまでには至らない。

核医学検査については、検査後の画像解析に時間を要し、その結果48時間以内の報告書作成率は約50%程度となっている。ただし、1週間以内での作成割合は90%を超え、その後100%の報告書記載が行われている。

正確な診断とより質の高い治療を提供するためにも、画像診断による読影報告書は迅速かつ正確に作成される必要がある。また、レポートの作成時間短縮のみならず作成件数の増加にも取り組んでおり、検査種別問わず年々増加している。

データ提供：放射線部